

マテオ・リッチの「坤輿万国全図」(1602)をはじめ、翻訳の中心となった前野良沢が、訳稿の出版を急ぐ杉田玄白と意見が合わず、学者の良心から自分の名を載せることを許さなかったという「解体新書」(1774)、この「解体新書」の原書で名古屋市立植物園が所蔵している、ターヘル・ア



ナトミアと呼ばれるクルムス「解体図表」オランダ語版(1734)、良沢のもとで他の門人達とともに、ボイセン「人体排泄論」全章の翻訳を完成させた江馬蘭斎の「五液診法」(1816)、長崎のオランダ商館長ヘンドリック・ドーフが通詞の協力を得て著した本格的な蘭和辞典「ドーフ・ハルマ」の初稿自筆本(高知県立追手前高校蔵)など、館内外の180点余りの貴重な資料が並べられました。

併設展では、わが国の儒学に大きな影響をおよぼした紙本墨書「孝經述義」、保元の乱に関するもっとも信憑すべき資料とされている紙本墨書「兵範記」の二点の重要文化財指定図書と、奈良絵本を展示しました。また、平成3年10月、鈴鹿

紀氏より寄贈を受け、同年12月本館の貴重書に指定されて、現在修補中の「鈴鹿本今昔物語集」を展示するとともに、重要文化財等の保存のしかたの一つである保存修理の修補過程を初めて一般公開しました。

展示会期中は連日盛況で、1,146名の入場者があり、ホールでは日ごろあまり眼にすることのできない資料に、入場者は熱心に見入っていました。12月4日(金)には、関西大学教授の宮下三郎氏による講演「洋学の科学史」が、本館A Vホールにおいて開催され、一般市民ならびに教職員、学生で会場は満席となりました。

なお、今回の展示会は、本館の所蔵資料だけでなく学内、学外の諸機関からも多くの貴重な資料を借用しました。これらの方々のご厚意とご協力により、このたびの展示会を開催することができましたことを、この場を借りまして厚くお礼申し上げます。また、総合人間学部の松田清助教授には、短い準備期間にかかわらず、展示会開催の全般にわたり、ひとかたならぬご指導、ご援助をいただき、人文科学研究所の横山俊夫助教授には、開催企画について貴重な助言をいただきました。記して、深く感謝する次第です。

(雑誌・特殊資料掛)

平成5年度 図書館カレンダー

月	業 務 予 定	月	業 務 予 定
平成5年4月	1～5日 春季定例休館 9日 入学式 14日 新入生・新院生(修士課程) 図書館利用証交付開始	10月	
5月		11月	25日～ 冬季休暇中長期貸出開始 (書庫内図書:院生・教職員)
6月	1日～ 国立七大学間夏季帰省先図書館 利用申込受付開始 17日～ 夏季休暇中長期貸出開始 (書庫内図書:院生・教職員) 18日～ 創立記念日【休館】	12月	11日～ 冬季休暇中長期貸出開始 (開架図書:利用対象者全員) (書庫内図書:学部生) 25日～1月5日 年末年始 休館 ～1月9日 冬季休業
7月	3日～ 夏季休暇中長期貸出開始 (開架図書:利用対象者全員) (書庫内図書:学部生) 17日～9月12日 夏季休業 21日～9月10日 【夏季休業中土曜日休館】 夜間休館	平成6年	6～10日 夜間休館 11日～ 夜間業務開始 1月 13日 冬季休暇中長期貸出返却日
8月	5～15日 夏季休館(蔵書点検等のため)	2月	28日 卒業予定者最終貸出日
9月	13日～ 夜間業務開始 20日 夏季休暇中長期貸出返却日	3月	1日～ 春季休暇中長期貸出開始 (書庫内図書:院生・教職員) 17日～ 春季休暇中長期貸出開始 (開架図書:利用対象者全員) (書庫内図書:学部生) 23日 学位授与式 24日 卒業式

★毎月末日は図書整理のため休館します。

☆上記日程に変更のある場合はその都度掲示でお知らせします。